

ESPERANZA

三田西陵高校 24 回生 2016.9.8 発行 No.7

2 学期を迎えるにあたり学年団からのメッセージ

主任・上郡 隆義

「何で先生になったん？」この夏休み、君たちから何度か受けた質問です。総学の夏課題である仕事研究と職業人インタビューを意識してののでしょうか。さて君たちのミッションとなった職業人インタビューの内容を覚えていますか？そのなかのひとつに「その仕事にふさわしいのはどんな人か？」というものがありました。社会には様々な仕事がありますが、ふさわしい人や求められる人には、仕事の種類に関係なく共通の要素があります。そして君たちがそれらを育む場所は学校です。充実した日々を過ごすことは将来の選択肢を増やします。そして「なりたい自分」に近づくことになります。

2 学期がはじまりましたが、初心を忘れず、精一杯学校生活を過ごしてください。

代表担任（5 組）・岸 浩正

この夏といえば君達は何を連想するのか。先生は何と云ってもリオ・オリンピックだ。日本は 41 個のメダルを獲得した。(現在までの最高記録) 柔道やレスリング・水泳・男子体操・女子卓球など、大会前からメダルの期待が高かった種目は当然だが、カヌーや男子卓球、男子競歩、バドミントン女子など今回初めてメダルを獲得した種目もあった。その中でも先生が感動したのは、男子 400M リレー銀メダル獲得。4 人の日本人は誰 1 人 10 秒の壁を破れていないし、1 人も 100M 準決勝にも進出していない。他国はアメリカやジャマイカを筆頭に、4 人全員が 9 秒台というチームが多く、ボルトをはじめ 100M のファイナリストがメンバーに入っていた。そんな中で日本はジャマイカに次いで銀メダル (0.43 秒差) に輝いた。君達はこの結果に何を感じたか？1 人の力では太刀打ちできなくとも知恵を絞り、バトン技術を高め、何よりチームが一丸となって勝ち取った銀メダル。ここに価値がある。全員が互いの弱さを補い、結果が出ると信じて日々努力を重ね、自分を信じ仲間を信じる事の大切さが集約されていた。君達は自分を信じているか。目標に向かってただひたすらに努力をしているか。2 学期が終わる時、君自身が自分に金メダルを掛けてあげられる生活を送ってほしい。

1 組担任・多田 和行

この夏、卓球部の合宿中にある先生から「挨拶は、お礼や謝罪と同様で、すべきときにしないと相手の抱く印象としては 0 ではなくマイナスになる」というお話を聞きました。

あの時に言おうと思っていたけど、なんだか言い出しにくくて・・・という瞬間は今まで誰しもあったと思いますが、それはあなたの中だけで終わる問題ではなくて、実はあなたが口に出さなかった一言によって不快な気持ちになる人がいる。だからこそ勇気を出して気持ちの良い挨拶をしましょう、という話でした。

非常に日本らしい考え方だと思いますが、私も好きな考え方でした。2 学期以降も学校の内外問わず、お互い気持ちよく過ごしたいですね。

2 組担任・吉田 秀一

夏休みの面談でもよく話題となりましたが、勉強と部活動の両立に悩んでいる生徒が多い様に思われます。大きな学校行事もなく、年間で最も勉強に集中できる 2 学期。又重要な文理選択もあります。進路を深く考え、文理選択を真剣に考えて下さい。又進路を実現するには、どんな方向に進むとしても 1 日最低 2 時間の家庭学習時間を確保してください。選択肢が大幅に増加します。スタサポの結果でも報告したように、西陵高校の場合、2 学期になると極端に勉強時間が減る傾向にあります。

1 学期はまだ中学の復習程度でしたが、2 学期はどの教科も大幅に授業進度も速くなり、量も増加します。家庭学習の時間を確保し、授業にしっかりと取り組むことが進路の実現のポイントです。勉強時間が 30 分以内ではどうしようもありません。がんばりましょう！

3 組担任・小野 成伸

皆さんに望むことを述べます。1 学期以上に授業を大切にしてください。概ね一日を学校で過ごすのだから、ここで学ぶのが君達の仕事だ。そうしてこそ、各時間・各科目で学んだ内容が繋がって考え方も深まってくる。丁寧に取り組むべきものが沢山あることにも気付く。前に進むために初心に戻って下さい。

4 組担任・林 友哉

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」アメリカの哲学者ウィリアム・ジェームズのことばです。2 学期も始まりましたが、皆さんは元の生活リズムを取り戻せたでしょうか？もうすぐ文理選択の本調査があります。夏休みの面談以降、じっくり自分の進路について考えることができたと思います。やりたいことがみつければ、自ずとやるべきことが見えてきます。やるべきことが見つければ、あとはどれだけ時間を費やしたかが結果に出てきます。夏休みモードから学校生活

への切り替えを早く完了させて、メリハリのある生活を送ってくれることを望みます。

6 組担任・芳賀 絵里奈

“*And Then, There Were None.*”

今年の 9 月 1 日は新月でした。月 (Moon) の満ち欠けは 28 日周期で、15 日に満月 (中秋の名月) となるそうです。月 (Month) は、28～31 日周期ですよね。つまり、何年かに 1 度「9 月 1 日」と「新月」のタイミングが揃うのです。何かがリセットされるような、このタイミングで新しいことを始めると長続きするそうです。あなたはどんな「9 月 1 日」を過ごしましたか？

さて、冒頭の英文は、私が今ハマっているドラマのタイトルです！毎週欠かさず観ている人は、ぜひ一緒に語り合いたいです。「9 月 1 日、世界は孤独になる。」「新月の夜に漆黒のドローンか...」というセリフがありました。

夏休みに怠惰な暮らしを送っていた人は、9 月 1 日がとても恨めしく感じられたことでしょうか。それでも、もう 2 学期は始まっています。楽な道にはいつでも逃げられます。しんどいことはいつでも止められます。君たちには、自分の限界を決めず、常に挑戦する前向きな姿勢を持ち続けてほしい。いつでも応援していますから、「こまつな」(困った、迷った、躓いた、悩んだ) のときは相談に来て下さいね。

学年プラス・西村 俊紀

2 学期の授業は 1 学期の内容を元に進みます。難易度も上がるでしょう。となると、わからない内容のところも出てくると思います。そんな時は、各教科の先生に自分から聞きに行き、積極的に解決していくことが大切です。自ら行動を起こし、疑問を解決していく姿勢を身につけてもらいたいと思います。

学年プラス・園田 潔

夏休みに入る前に授業などで私が言ったことを覚えていますか？「夏休みのあいだに何か一つでいいから思い出を作してほしい」と私は言いました。せっかくの夏休みを何もせずに過ごしたということはないでしょう。しっかりとこの夏休みを振り返って、大人になっても「高 1 の夏休みには～をした」と思いだせるようにしてもらえればと思います。



We are fantastic!

誓いを新たに 2 学期も充実させよう

2学期の予定

9月	5	月	面談週間開始　～16 まで
	8	木	PTA 進路講演会・学年懇談会
	12	月	部活動あいさつ運動　～30
	15	木	後期H R 役員決め
	26	月	後期H R 役員研修会
	29	木	スタディサポート
	30	金	全校集会
教育実習 1 組・藤原先生（9/2～23 日） 中旬　類型選択本調査票提出 （3 年実力テスト） 身だしなみ月間（いつもの端正な服装を続けること） スタディサポート当日は、特に欠席・遅刻なきよう			
10月	1	土	創立記念日　3 年実力テスト
	6	木	人権国際理解教育講演会　（10/5 会場準備） 中間考査一週間前
	13	木	中間考査開始　（～10/18　4 日間）
	21	金	遠足・京都東山方面
	22	土	ふれ愛コンサート　（10/20 会場準備）
	27	木	進路・生活実態調査
	29	土	1・2 年実力テスト
上旬　　　　　（3 年実力テスト） 29 日　実力テスト　遅刻・欠席厳禁			
11月	2	水	全校集会
	7	月	授業公開週間～11/18
	12	土	オープンハイスクール
	17	木	芸術鑑賞会
	24	木	1 年地域清掃活動
	29	火	2 学期末考査一週間前
	上旬　　　　　（3 年生実力テスト）		
12月	6	火	2 学期末考査開始　（～12/12　5 日間）
	16	金	避難訓練
	20	火	進路ガイダンス
	22	木	終業式
	23	金	冬季休業　補習（英語科　12/26. 27 および 1/4～6）
あえて 3 年生の行事を掲載しました。先輩たちの 2 学期は実力テストがほぼ月に一回実施されます。 24 回生の皆さんも普段からしっかりと授業に取り組み、基礎学力を身につけ、悔いのない進路選択が出来るよう願っています。			

総合的な学習の時間（進路の探求）について

1 学期は、火曜日の 6 限に学習する「総合的な学習の時間（進路の探求）」は、オリエンテーションがメインでしたが、今学期から、自分自身の進路目標に向けて、実践的な取り組みをします。興味・関心を持ち、積極的に成果を収める努力をしよう。
今学期は授業への取り組みや、提出物が評価に大きく影響を及ぼします。座学だけでなく、グループで活動することが多くなります。指示をよく聴き、理解し有意義な時間にし、皆さんの進路実現の礎となることを期待します。

夏休みの生活を振り返る

約 40 日間の夏休みが終わりましたが、多くの生徒がいつものように学校で元気な姿を見せてくれました。
1 学年の皆さんは部活動加入率が高く、暑い中、各顧問・先輩の指導のもと、玉の汗を流した事と思います。自ら辛いことに向き合うことで、逞しく成長する皆さんの様子を頼もしく思いました。
また、8 月 20（土）は、P T A 行事として部活動合同で通学路の清掃活動をしました。いつも利用している場所を感謝の気持ちを込めて綺麗にすることができ、地域住民の方からも高い評価を頂きました。
90 分ほどの作業でしたが、炎天下にゴミを拾うことは意外に辛い作業で、P T A から差し入れて頂いた飲み物の美味しさは普段以上でした。お疲れ様でした。



丁寧な作業が評価されました

また、類型選択について、家族の方とも真剣に話し合いが出来たことと思います。意見が一致した生徒もいれば、ご家庭の方との意見と噛み合わず、今も苦い思いをしている生徒もいると思います。
9 月中旬には本調査の用紙を提出することになります。これは皆さんの 3 年間や将来に大きな転機となるでしょう。提出ベ切までよく考え、相談にものってもらい、自身が納得のいく選択をして欲しいと思います。

保護者の皆様へ

夏季休業中は御多忙中にもかかわらず、お子様の類型選択を見据えた三者面談にお越し下さり、学年団一同感謝申し上げます。
1 学期末に発行しました学年通信にて、3 か月を経て成長したお子様の姿をお伝えいたしました。
夏季休業中は日差しも強く、暑い日々が続く中、多くの生徒が部活動や補習、あるいはオープンハイスクール等の学校行事に尽力しました。自分の進むべき方向を探し、高校生として必要な学力を定着させるための課題にもよく取り組んだことと思います。過ぎてみれば短い 40 日ですが、更に心身ともに成長した日々であっただろうと思っております。



こどもみらい実習（インターンシップ）

しかし、時節柄か疲れが見える生徒や、進路決定に対して不安を感じている生徒も見受けられます。本校では 9 月 5 日より面談週間を設け、生徒の思いを聴き、円滑な 2 学期のスタートが切れるよう努力しております。
加えて、ご家庭におかれましても、なお一層お子様との対話を深めて頂き、家族のふれあいを通して生徒の成長を促して頂きたいと存じます。

新学期も保護者各位と私達職員が手を携えてお子様の成長を見守って参りたいと存じます。今後とも変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。